

(株)SRA ホールディングス 代表取締役社長の鹿島です。

本日、2021 年 3 月期 第 2 四半期決算を発表しました。

併せて、「決算付属資料」、「2020 年 10 月 月次売上高速報」も発表しました。

今回の発表の要点は下記のとおりです。詳細は、発表資料をご覧ください。

<発表資料> <https://www.sra-hd.co.jp/>

〔2021 年 3 月期 第 2 四半期業績(連結) 前年同期比〕

■売上高＝減収

■収益＝「粗利益」:横ばい、「粗利益率」:向上

「営業利益」、「経常利益」、「四半期純利益」:いずれもが増益

◎売上高:191 億 55 百万円(6.1%減)

・開発事業(2.2%減):サービス業が増加したものの、製造業が減少

・運用・構築事業(3.2%増):企業向けが増加

・販売事業(14.4%減):海外子会社の機器販売が増加したものの、

(株)AIT 及び(株)SRA の機器販売が減少

◎粗利益:44 億 68 百万円(0.3%減) 粗利益率:23.3%(前年同期 22.0%)

◎販売管理費:22 億 99 百万円(4.8%減)

◎営業利益:21 億 69 百万円(4.8%増) 営業利益率:11.3%(前年同期 10.1%)

◎経常利益:21 億 37 百万円(9.2%増) 経常利益率:11.2%(前年同期 9.6%)

◎四半期純利益:10 億 41 百万円

〔2020 年 10 月 月次売上高〕

(株)SRA＝投資抑制の影響により減少。堅調な既存顧客向け受注活動を強化。

(株)AIT＝単月、累計共に増加。計画に対し堅調に進捗。

国内子会社、海外子会社＝好調な会社があるものの累計では減少。

コロナの影響の少ない業種への受注活動に注力。

<発表資料> https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2020.html

第 2 四半期の業績につきましては、前年同期比で売上高は減収となりましたが、

高収益ビジネスへのシフトにより、粗利益率が向上しました。

また、販管費の効率化にも努めた結果、営業利益が増益となりました。

経常利益も増益となり、四半期純利益も投資有価証券評価損(キャッシュアウトを伴わない一過性の評価損)を特別損失に計上しましたが増益となりました。

今後もグループ一丸となり、受注・売上の確保・拡大を目指すと共に、さらなる収益性向上にも努めてまいります。

皆様には引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。